

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	いちき串木野市 家庭教育支援チーム (呼称: ほっとルーム)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	いちき串木野市教育委員会 社会教育課内 ほっとルーム
活動範囲	いちき串木野市の5小学校 (串木野小、照島小、市来小、川上小、生福小)
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>5</u> 人 (家庭教育支援員リーダー1人、サポーター4人)
具体的な活動内容	①小学校低学年を中心にした家庭訪問の実施(市内小学校1・2年生長子家庭) ②保護者を対象にした相談体制の充実(ほっとルームでの相談。各小学校への出前サロン) ③家庭教育に関する情報提供(毎月1回発行ほっとルームだよりを配布) ④家庭教育アンケートの実施(年間2回) ⑤各地区の乳幼児学級及び母親セミナーとの連携 ⑥いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会(年3回) ⑦市内保・幼・小・中学校、地域及び企業との連携
活動を通して感じていること (成果、課題など)	○保護者が気軽に相談できる機会が増え、子育てに関する不安の解消や家庭の教育力の向上につながっている。 ●家庭訪問については事前に訪問の予告をしていないため、不在家庭もあり、その対応も含めてさらに充実した相談体制の工夫、改善が必要である。